

第53回春季全国大会における感染防止対策

= 球場運営マニュアル 運用細則(2023.2.19) =

《球場運営》

- ①役員及び球場運営を行う者は試合開始の約1時間半前に球場に到着し準備を開始する
- ②連盟旗、日の丸旗、報知新聞社旗、読売新聞社旗、横断幕類を球場に掲揚する
- ③本部受付、球場出入口へ体温計、アルコール消毒液、手洗いハンドソープ等を設置
- ④放送、ビデオ配信等の設備をチェックして試合開始に間に合うように準備する
- ⑤球場へは以下の人員を密にならないように配置して球場運営を行う
 - ・本部席、放送席、審判控室、スコアボード、スコアラー、球数制限管理責任者、ライブ配信担当等
 - ・本部受付、球場出入り口にて検温する（役員、一般の観戦者）
 - ・役員、一般の観戦者には、検温して頂き 受付名簿に氏名、電話番号、体温を記入して頂く
 - ・観客席では、鳴り物の使用不可及び大声での応援をしない等の注意喚起を行う
 - ・会話しないことと共に1m以上の間隔を開けるように注意喚起を行う
 - ・その他、グランド整備、湯茶類接待、旗類掲揚のための要員
- ⑥チーム到着時にチーム代表に対し以下の書類提出を求める
 - ・「新型コロナウィルス感染症対策当日参加名簿」各1部

(大会のご案内 添付-別紙3-1、2)

- ・「オーダー表」
- ・大会2日目以降は「投手投球数記録表(正)」及び「投手投球数記録表(副)」
- ⑦「大会参加同意書」(大会のご案内 添付-別紙1)はチームを通じて支部長へ提出済み
- ⑦「新型コロナウィルス感染症対策当日参加名簿」記載の体温を確認し、人数分のリストバンドをチーム責任者に配布し参加名簿の全員につけてもらい大会参加者であることを示す。
- ⑧チームの本部挨拶はしないことなど感染対策について「第53回春季全国大会における感染防止対策出場チームマニュアル」(以下、「チームマニュアル」)の遵守を依頼する
- ⑨球場における保護者等観客への注意事項やアルコール消毒液等の設置場所を説明する
- ⑩試合前審査は、コロナ禍前と同様に第1試合はベンチ前で、それ以外は前試合の4回終了までに整列して行う。審査は、役員・選手はマスク着用で横との距離を1m程度あけ

整列し、選手は氏名、生年月日を発声しないで、審査証を右手で見えるように審査者に向けて審査を受ける。併せて道具審査も実施する。

- ⑪同時に球場運営責任者が指導者・選手などに「出場チームマニュアル」運用細則(2022.2.19)の「感染防止の三原則」等の必要な事項を説明・確認する
- ⑫2試合目以降の投球数制限については、「投手投球数記録表(正)」及び「投手投球数記録表(副)」により、あらかじめ確認しておく
- ⑬役員及び球場責任者は、感染防止対策として、マスク着用、手指消毒の徹底、密にならないことを常に大会参加者に対して注意喚起や試合終了後、速やかに解散しないチームに対して解散を促す
「出場チームマニュアル」の三原則等に沿って感染防止対策を実施する。遵守していないチーム等には厳重注意すること(大会本部へ要状況報告)